夏の意気込みを聞く

昨年度は、ＯＢ・ＯＧ会にさまざまなバックアップをしていただき、感謝しています。

この１年、練習環境を大きく変えました。環境は人を作ります。選手たちは自ら練習をする姿勢ができ、力をつけてきました。また、強豪校との練習試合を重ね、早い打球にも慣れてきました。

夏の大会に向け、春季大会で課題となったさまざまな攻撃パターンの練習を重ねています。強豪校にも１点でなく複数点を取れるよう、残り１か月で選手を育てたいです。そして本番では、まとまりがいい３年生が試合を盛り上げてほしいです。

シード校まであと１歩となるなど、周囲は選手がとても成長したと言ってくれますが、私は満足していません。選手たちには「甲子園に行こう」と言っています。私たちは応援してくれる皆さんと一緒に、この夢に向かって戦っていきます。

佐相眞澄 監督

市立中学校３校、川崎北高を経て、昨年４月に県相模原高に赴任。２年目を迎えた。

目標は甲子園出場

坂崎瞭 主将

４８期生、捕手。若草中出身。昨夏の大会にも２試合に出場した。

今年のチームですが、守備では、鈴木・井田・土田・新井の４人の投手陣を中川・櫻井の三遊間を中心としたバックが支え、次の塁を与えない堅い守りで、最少失点に抑えていきます。打撃では、一番の丸井が出塁し、井田や小澤が返すというのが特徴です。

自分たちは、佐相年生から打撃理論を中心とした細かい野球を熱心に指導してもらいました。また、時間の使い方など普段の生活も変えていきました。こういった一つ一つを夏の大会に生かしていきたいと思います。

自分たちの夏の目標は甲子園出場です。そのためにも一戦一戦、目の前の敵としっかり戦って、一戦必勝で臨んでいきたいです。

ＯＢ・ＯＧの皆さんには、これからもご協力をお願いします。